



日本の宝島“天草”の創造を目ざして!

# 市政だより AMAKUSA 天草



## 「花しょうぶを彩る“早乙女たち”」

5月30日から6月14日にかけて、西の久保公園で盛大に開催された「“天草”花しょうぶ祭り・大バザール」は、県内外から2万7,000人の人出でにぎわいました。6月6日には、華やかな花しょうぶに囲まれ、苓明高校の生徒たちが早乙女姿で花摘みを行い、祭りの雰囲気を盛り上げました（6ページに関連記事）。

### 主な内容

- 教育委員会だより ..... 2~5
- 天草花しょうぶ祭り ..... 6
- 天草国際トライアスロン記念大会 ..... 7
- 宝島の話 ..... 8~11
- みんなの広場 ..... 12~15

平成21年

7

1

No.78

### 3 小規模校の課題と影響

本市の児童・生徒数は、出生数の低下などによって年々減少しており、今年5月1日現在の児童数は4,945人、生徒数は2,741人となっています。学級数は、小学校289学級、中学校108学級であり、今後、児童・生徒数の減少とともに学級数も減少するものと予測されます。複式学級のある小学校は半数の21校となっています（各学校の児童・生徒数や学級数については、昨年10月1日号「市政だより天草」を参照ください）。小規模校や複式学級では、一人ひとりに目が行き届き、緊密な人間関係がつけられるなどの良さがありますが、学習・指導面、生活面、学校運営面から見ると、次のような課題や影響が一般的に考えられます。

- 児童・生徒間の交流が限られるため、切磋琢磨の機会が少なく、多様な考えや価値観を持った仲間との出会いに恵まれにくい。
- 複式学級では、2学年の生徒が同時に授業を受けるため、担任からの直接指導の時間が少なくなる。
- 合唱や合奏、運動会での集団演技などが行いにくく、また、部活動の種類が限られ選択の幅が小さい。
- 教員一人あたりの校務量が多く、緊急時などにおいて十分な対応ができていない。校外での研修や会議などへの参加が、制限される場合も多い。

### 4 適正化の必要性と方法

このように、小規模校や複式学級の課題を解消し、子どもたちが希望に満ち、安心してより良い教育環境の中で効果的な教育を受けることができるように、学校規模の適正化を進めていく必要があります。

適正化にあたっての基本的な考え方は、次のとおりです。

- 複式学級の解消を図ることを最優先するものとし、小学校では42校（分校1校を含む）を18校に統合するものとします。
- 中学校については、地理的、歴史的な面、生活圏などを考慮し、17校を13校に統合するものとします（平成22年4月開校の「本渡中学校」の関係校を含む）。
- 幼稚園については、一定の園児の確保が見込めず、教育効果を上げることが困難な場合には、廃止（休園を含む）するものとします。
- 統合で使用される学校施設などは、既存の学校敷地や施設を活用することを基本とし、必要に応じて施設の整備や耐震化などを行います。
- 小学校ではおおむね4 km、中学校ではおおむね6 kmを越える遠距離通学になる場合は、スクールバスなどの通学手段を確保します。
- 統合による学区は、小学校については現行の中学校区域を、中学校については、旧市町の区域内をそれぞれ基本とします。なお、地域の実情に応じてその区域を越えることができるものとして検討します。
- 統合により廃止となる学校の建物や土地の利用は、地域の意見や要望を聞きながら有効活用を検討します。
- 学校が地域で果たしてきた役割や公共的施設としての機能などに配慮するとともに、地域での懇談や説明に努め、理解と協力を得ながら実施するものとします。



## 教育委員会だより

# 子どもたちのために より良い教育環境を目ざして

～学校規模適正化推進計画(素案)を作成～

教育委員会では、3月に学校規模適正化審議会からの答申を受け、市内の小・中学校や幼稚園の適正化を推進するため、「天草市学校規模適正化推進計画(素案)」を作成しました。

今回は、小規模校の課題や影響、適正化の必要性と方法、小・中学校、幼稚園の推進計画などについてお知らせします。

### 1 これまでの経緯

昨年10月1日号と4月1日号の「市政だより天草」でもお知らせしましたが、少子化により、児童・生徒数の減少と学校の小規模化が進み、児童・生徒の教育条件、教育環境、学校運営などにさまざまな課題が生じていることから、教育委員会では、平成20年6月に「天草市学校規模適正化審議会」を設置。同審議会に学校規模の適正化について諮問し、3月に答申がありました。

教育委員会では、この答申を尊重しながら、「天草市学校規模適正化推進計画(素案)」を作成しました。

### 2 学校教育の目標

これからの学校教育は、子どもたちが、自ら学び、自ら考え、解決する力を養う教育を目ざすことが求められています。同時に、基礎・基本の徹底と知・徳・体のバランスのとれた教育により、豊かな人間性とたくましい体を育むとともに、社会の変化や多様性に対応できる確かな学力の定着を図る必要があります。

また、集団の中で人間関係を築き、さまざまなことを学習しながら、体力の向上や自主・自立性を育てていくことを教育効果として期待するものです。そして、発達段階における子どもの人格形成面においても、学校での行事やグループ活動、部活動などを通して社会性を育むことが求められています。



天草	福連木小学校 下田北小学校 下田南小学校 高浜小学校 大江小学校	平成25年4月	高浜小学校	154	7
河浦	富津小学校 一町田小学校 一町田小学校 第一分校 新合小学校 宮野河内小学校	平成24年4月	一町田小学校	210	9
中 学 校					
御所浦	御所浦中学校 御所浦北中学校	平成23年4月	御所浦中学校	93	4
五和	五和東中学校 五和西中学校	平成25年4月	新たな場所に校地を確保する	212	7
幼 稚 園					
地 区	対象園名	廃止の時期			
本渡	瀬戸幼稚園	平成22年3月			

## 5 推進計画

計画の実施期間は平成22年度から同28年度までの7年間とし、計画的に実施していきます。

なお、具体的な統合の組み合わせ、統合の時期などについては、次のとおりです。



小 学 校					
地 区	対象校名	統合の時期 (目標)	統合校の位置 (予定)	統合時の学校規模	
				児童・生徒数 (人)	学級数
本渡	志柿小学校 下浦第一小学校 金焼小学校 瀬戸小学校	平成25年4月	瀬戸小学校	266	12
	亀場小学校 栢宇土小学校 宮地岳小学校	平成24年4月	亀場小学校	369	15
牛深	牛深小学校 二浦小学校 魚貫小学校 天附小学校	平成26年4月	牛深小学校または、新たな場所に校地を確保する	380	13
	深海小学校 久玉小学校	平成28年4月	久玉小学校	164	6
有明	大楠小学校 浦和小学校 島子小学校	平成28年4月	新たな場所に校地を確保する	193	6
御所浦	御所浦小学校 御所浦北小学校	平成28年4月	御所浦小学校	124	6
新和	新和小学校 大多尾小学校	平成23年4月	新和小学校	132	7
五和	御領小学校 鬼池小学校	平成26年4月	御領小学校	126	6
	城河原小学校 手野小学校 二江小学校	平成26年4月	手野小学校	233	9

## 6 これからの予定…

この素案を説明しご意見をうかがうため、地区説明会を開きます。日程については、7月15日号「市政だより天草」おしらせ版に掲載します。また、パブリックコメント（意見募集）を下記のとおり行いますので、ご意見やご要望をお寄せください。お寄せいただいたご意見やご要望を参考に、9月をめどに「学校規模適正化推進計画」（成案）をまとめる予定です。

### 天草市学校規模適正化推進計画（素案）への意見募集！

今回、天草市学校規模適正化推進計画（素案）について、ご意見などを募集します。

なお、この素案は本庁（別館）・学校教育課や各支所教育委員会事務局分室のほか、市のホームページでも閲覧することができます。

●募集期間＝8月14日(金)まで。

●提出方法＝ご意見などをまとめたもの（様式・文字数は自由）に、住所・氏名・年齢・性別・

電話番号を記入し、本庁（別館）・学校教育課へ提出してください。なお、ご意見などが素案のどの部分にあたるものなのか、を明記してください。

【郵送・持参】〒863-0048 市内中村町10-8

天草市教育委員会・学校教育課

【FAX】③1191

【電子メール】gakkou@city.amakusa.lg.jp

【問い合わせ先】本庁（別館）・学校教育課教育企画係 ☎③1111内線2507



## 第25回天草国際トライアスロン記念大会

エリート男子 **ダニエル・リー・チーウー選手、**  
 エリート女子 **菊池日出子選手が初優勝!**

第25回天草国際トライアスロン記念大会が5月24日、本渡海水浴場をスタート・本渡運動公園陸上競技場をフィニッシュとする51.5km（スプリントは25.75km）のコースで開催されました。

今年の記念大会には、国内外から787人のトライアスリートが参加。海外招待選手や日本トライアスロン連合の強化指定選手などが出場したエリート部門では白熱したレースが展開され、エリート男子はダニエル・リー・チーウー選手が、大接戦の末初優勝。同女子は、菊池日出子選手が昨年優勝した足立真梨子選手（3位）を抑え、初優勝を果たしました。

このほか、エイジ部門や通常のレースの半分の距離で競うスプリント部門、スイムとランの2競技で競うアクアスロン部門、スイム・バイク・ランを3人1組でつなぐリレー部門も実施され、参加した選手たちは沿道の観客から声援を受けながら、熱いレースを繰り広げていました。

なお、本大会は9月に開催される「トキめき新潟国体・トライアスロン競技」の予選会も兼ねており、本市（瀬戸町）の宮崎友和さんが県代表選手に選出されました。



▲後続を振り切り、ゴールするエリート男子・ダニエル選手（左）と、初優勝の喜びを語る同女子・菊池選手（右）



▲第1回大会から25回連続出場の快挙を達成した唐津徳観さん（今釜町・左）と岩本正三さん（福岡県・右）には、特別賞が贈られました。



▲今年度閉校する本町中学校の先生たちがリレー部門に出場し見事完走。写真は、最後のランを担当した木下えり子校長と声援を送る生徒。



### 【市民の皆さんへ】

大会当日は、早朝からたくさんのボランティアの方々から大会を支えていただき、ありがとうございました。また、市民の皆さんには温かいご声援とご協力をいただき感謝申し上げます。

▲エイドステーションで選手に給水を行うボランティアの皆さん

## 成績結果

（※エリート以外は1位のみ）

「エリート」男子①ダニエル・リー・チーウー（香港）1時間50分44秒②ダン・ロビンソン（オーストラリア）1時間50分46秒③山本良介（愛知）1時間50分47秒。女子①菊池日出子（栃木）2時間3分10秒②土橋茜子（東京）2時間3分45秒③足立真梨子（東京）2時間4分14秒  
 「スプリント」男子①土井政英（愛知）1時間0分39秒。女子①野田純那（福岡）1時間8分9秒  
 「エイジ」男子①18歳・山中俊輔（大阪）2時間10分6秒②25歳・中井啓太（三重）2時間3分29秒③30歳・岡本治樹（滋賀）2時間5分13秒④35歳・フリーマントルマーク（鹿児島）2時間7分56秒⑤40歳・44歳・林真一（宮崎）2時間9分4秒⑥45歳・49歳・山野健一（長崎）2時間9分40秒⑦50歳・54歳・内田哲（福岡）2時間20分15秒⑧55歳・59歳・渡辺良一（熊本）2時間23分35秒⑨60歳・64歳・妹尾浩之（福岡）2時間27分53秒⑩65歳・69歳・熊谷孝二（福岡）2時間36分47秒⑪70歳以上・田中國宣（熊本）3時間2分23秒。女子①18歳・24歳・大塚真弓（愛知）2時間25分47秒②25歳・29歳・大塚あかり（愛媛）2時間29分7秒③30歳・34歳・本田景子（熊本）2時間29分29秒④35歳・39歳・本田智子（愛知）2時間26分47秒⑤40歳・44歳・本田恵津子（熊本）2時間41分37秒⑥45歳・49歳・永田はるよ（鹿児島）2時間44分9秒⑦50歳・54歳・北里初美（福岡）2時間46分48秒⑧55歳・59歳・福田百合子（熊本）2時間42分20秒⑨60歳・64歳・三田伸子（広島）3時間8分6秒  
 「アクアスロン」男子①平山浩二（新和町）50分28秒。女子①一村多美代（熊本）1時間2分52秒  
 「リレー」▼チーム武蔵（荒木勇輝（熊本）・播正圭史（熊本）・山下将近（楠浦町））2時間0分48秒



「天草花しょうぶ祭り・大バザール」が5月30日から6月14日まで、西の久保公園で開催されました。期間中は天候に恵まれ、初夏を思わせる日差しの中、県内外から約2万7,000人が来園。全国的にも珍しい棚田を利用した花菖蒲園に咲き誇る、約25万本の花しょうぶなどを満喫しました。

初日の30日には、芥明高校郷土芸能部などによる天草ハイヤ踊りや、もち投げが行われたほか、夕方からは「夜の市」を実施。夜の市では、花菖蒲園と大バザール会場を灯ろうでライトアップし、その中を無数のホタルが飛び交うなど、園内が幻想的な雰囲気にも包まれました。来園者は、昼間とはひと味違う花しょうぶを楽しんだり、コーラスに耳を傾けたりして、優雅なひとときを過ごしていました。

また期間中は、陶磁器や石細工などの工芸品や農産加工品・特産品が所狭しと並んだ大バザール、花しょうぶ苗の抽選配布、お茶会、フリーマーケットなども行われ、多くの人出でにぎわいました。



第5回  
西の久保公園

# 2万7,000人の 人出でにぎわう！

「天草花しょうぶ祭り・大バザール」



▲花菖蒲園内の茶室では、「お茶会」が行われました。



▲芥明高校郷土芸能部が軽快な天草ハイヤ踊りを披露



▲「大バザール」(左)、「フリーマーケット」(右)は大盛況



▲特設ステージではダンスやコーラスなどを披露



▲「親子スケッチ大会」も実施



▲灯ろうの明かりが花菖蒲園内を幻想的に演出

# 宝島の話



▲草刈りなどを行う地区住民

## 「はまぼう」の名所に向けて

～はまぼう群生地整備～

5/30  
新和

5月30日、新和町小宮地地区にある約4ヘクタールの「はまぼう群生地」で、草刈りや雑木の伐採が行われました。これは、はまぼうが市の花として制定されたことをきっかけに、県内でも最大級の群生地といわれる同地を、多くの人たちに知ってもらおうと開花を前に実施。小宮地・大宮地地区の農地環境整備活動組織と、同地区振興会員あわせて40人が作業を行いました。例年7月から8月上旬にかけて黄色い花を咲かせます。皆さん、ぜひご覧ください。

## 「ホタルの里できらめく城河原」を目ざして

～ホタルフェスタ～

5/30  
五和

5月30日、城河原小学校で“ホタルフェスタ”が開催されました。これは、城河原地域づくり振興会が「ホタルの里できらめく城河原」を目ざし開催しているもので、今年で8回目。会場には、浴衣姿の家族連れなど約2,000人が訪れ、同校児童による環境学習の発表や物産市、地元産品が当たる大抽選会などを楽しみました。また、地域で整備したホタルの散歩道に竹灯ろうが置かれ、静けさの中で幻想的に舞うホタルの明かりを楽しむ姿が見られました。



▲浴衣姿で物産市を楽しむ来場者

## 火災で逃げ遅れた女性を救出

～初期消火と人命救助で表彰～

5/14  
牛深

5月14日、天草広域連合消防本部は、火災で迅速な初期消火を行い逃げ遅れた女性を救助した、魚貴町の上揚任隆さんと小崎力也さんに表彰状を贈りました。火災は4月1日午後0時50分ごろ、同町の住宅で発生。近くを通った上揚さんが火災を発見し、近所の人に消防署への通報を依頼。その後、火災現場に遭遇した小崎さんとともに消火活動を行い、火元付近で倒れていた82歳の女性を救助しました。2人は「女性が無事よかった」と話していました。



▲表彰を受けた上揚任隆さん(左)と小崎力也さん(右)



▲甘夏のさわやかな味わいをどうぞ

## 天草産の甘夏が大変身!

～甘夏酎ハイ全国発売～

5/30  
有明

有明町上津浦の松崎正司さん(左写真)が栽培した甘夏を使った酎ハイ(炭酸水で割った焼酎)が、7月7日から期間限定で全国発売されることになりました。松崎さんは、天草柑橘組合の代表で、甘夏栽培歴50年以上の大ベテラン。同組合は安心・安全をモットーに、産地の品質向上に率先して取り組んでおり、この姿勢が飲料メーカーの目に止まったもの。松崎さんは「甘夏をはじめ、天草のかんきつ類をPRするきっかけになれば」と話していました。



▲収穫は9月ごろの予定です。お楽しみに!

## 遊休農地をなくそう!

～食用ひまわりの種まき作業～

5/17  
栖本

5月17日、山浦地区の遊休農地など35アールで、食用ひまわりの種まき作業が行われました。これは、栖本地区振興会が、「ひまわり」を活用した商品を開発しようと、昨年から取り組んでいるもの。当日は、同振興会の環境部会員や有志など13人が参加。あいにくの雨でびしょ濡れになりながらも、和気あいあいの中で作業を進めていました。収穫は9月ごろの予定で、取れた種は加工し、11月に開催する「栖本かっぱ祭り」で販売する予定です。

## ホタルの舞にさそわれて

～第7回ホタルの里・ふれあいの集い～

5/30  
河浦

5月中旬から6月初旬にかけて、河浦町内の川ではたくさんのホタルが飛び交い、人の心を和ませてくれます。今富地域交流施設では5月30日、「ホタルの里・ふれあいの集い」が行われました。これは、地域の自然にふれ、環境について考えようと地区住民が実行委員会を組織し毎年実施しているもの。富津小学校児童による太鼓の演奏や河浦音頭の披露のほか、物産販売、もち投げなども行われ、地元住民約300人が集い大いに盛り上がりしました。



▲富津小学校の児童による太鼓の演奏

## 笑顔あふれるミニ運動会!

～御所浦北保育所・ミニ運動会～

5/28  
御所浦

5月28日、御所浦北保育所で「ミニ運動会」が開催されました。これは、同保育所が園児と祖父母との交流を深めることなどを目的として毎年開催。当日は、天候にも恵まれ、20人の園児と祖父母などが参加。お互い協力しあっているよう競争や、綱引きなどが行われ、参加しても見ているだけでも楽しく、会場内は終始笑い声で包まれていました。参加した園児は「おじいちゃん、おばあちゃんといっしょに遊べて楽しかった」と笑顔で話していました。



▲おじいちゃん、おばあちゃんといっしょに「エイ、エイ」

### 写真や映像を懐かしむ

～天草アーカイブズ企画展～

6月7日から同14日まで、「天草アーカイブズ企画展」が天草市民センター展示ホールで開催されました。市立の公文書館「天草アーカイブズ」が所蔵する写真や公文書など約300点を展示、記録映像の上映も行われました。会場には、昭和39年に開催された天草産業観光博覧会や同45年の台風9号襲来時の写真、また、写真家・麦島勝さん（八代市）が撮影した戦後の天草などの写真も展示。期間中は約1,100人が来場し、懐かしそうに見入っていました。



▲懐かしい写真に見入る来場者

### 来て、見て、やってみよう！

～市健康フェスタ～

6月6日、天草市民センターで、同14日、河浦町一町田公民館で「天草市健康フェスタ」が開催されました。

これは、身体の状態や食事、運動などについて知ることにより、生活習慣を改善するきっかけづくりなどを目的として実施しているもの。参加者は、歯の無料検診や健康相談などの各コーナーで、歯科医師やスタッフの指導を熱心に聞いたり、エアロバイクなどの運動器具を利用しながら、自分の運動能力を確認したりしていました。



▲エアロバイクを使って運動を行う参加者

### 皆さん、ぜひご利用ください！

～放送大学熊本学習センター天草教室開設～

5月30日、市立中央図書館で「放送大学熊本学習センター天草教室」の開設に伴う調印式が行なわれました。これは、市民からの熱心な要望により実現したもので、県内では初の設置。同教室は、もう一度視聴したい講義がDVDなどで視聴でき、式典終了後には、式に参加した受講生などが、さっそく目当てのDVDなどを探して視聴していました。なお、視聴はどなたでもできますが、貸し出しは受講生のみとなります。



▲目当ての講義を視聴する受講生

### リサイクルの大切さを学ぶ

～リサイクルフェア～

6月14日、牛深クリーンセンターで「リサイクルフェア」が開催されました。これは、同センターや牛深地域の婦人会などが、新聞や雑誌の結び方の実演やリサイクルバザーなどを通し、リサイクルの方法や大切さを伝えることなどを目的に、6月の環境月間にあわせて2年に1回実施しているもの。また、廃棄された家具や自転車を再生した「リサイクル品抽選会」には約300人が参加。当選した参加者は満足したようすで、リサイクル品を持ち帰っていました。



▲バザーでリサイクル品を選ぶ参加者

### 「にほんの里100選」を楽しくウォーキング

5/31

五和

～二江ぐるっとウォーク～

5月31日、二江地区で「二江ぐるっとウォーク」が開催され、宮崎県をはじめ市内外から約200人が参加しました。コースは五和漁村センターをスタート・ゴールとする5kmと8km。参加者たちは、各地区のえびす様にお参りし、「にほんの里100選」に選ばれた漁村の風景を楽しみながら歩き、コースの最後は、通詞島から渡し船でゴールするなど、海の散歩も楽しみました。また、ゴールした参加者は、アワビの炭火焼きなど磯の味を堪能しました。



▲大漁旗に見送られ出発する参加者

### 海辺で心も体もリフレッシュ！

6/7

天草

～高浜里浜づくり事業～

6月7日、天草町の白鶴浜海水浴場で「高浜里浜づくり事業」が行われました。これは、高浜地区の住民に同海水浴場に親しみを持ってもらおうと、同地区振興会が実施。ウォーキング講座では、市の運動指導士から歩く姿勢などの指導を受けながら浜辺を歩きました。また、シーカヤックの海上散歩体験では、子どもたちがじょうずにオールをこぎながら海上を散歩するなど、参加者30人はさわやかな汗を流しながら、ひと足早い初夏の海辺を楽しみました。



▲歩き方を考えながら「しっかりウォーキング」

### いっしょにお弁当を作ろう！

6/9

倉岳

～園児と高校生の合同調理会～

天草高校倉岳校の2年生と苓陽幼稚園のキリン組が6月9日、同校調理室でお弁当をいっしょに作りました。お弁当のメニューは、おにぎりやゆで卵のほか、タコやカニの形をしたウインナーや、ハート型のグラタンなど。慣れない手つきながらもていねいに作る園児たちは、「初めて作った。おいしそう」と、うれしそうに話していました。最後はお気に入りのお弁当箱に、いつもよりちょっとよくばって詰めて完成。みんなでおおいしくいただきました。



▲やさしく作り方を教えてくれる高校生

### 豊作への願いを込めて

6/14

本渡

～茂木根地区田植え体験～

6月14日、本渡町広瀬で「茂木根地区田植え体験」が行われました。これは、茂木根は楽しいのだ実行委員会などが、同地区内の小学生を対象に毎年実施しているもので、今年で3回目。当日は、小学生など50人が参加。参加者は、8アールの田んぼに並び田植えを開始。ぬかるみに体勢を崩しながらも、一株ずつていねいに植えていました。参加した小学生は「すごく楽しかった」と話していました。収穫は10月ごろの予定で、稲刈り体験も行われます。



▲ていねいに苗を植える参加者たち



市長随筆



気候と風土が育てた「天草ブランド」

先日、知人からマンゴーの贈り物が届きました。早速、その日にいただきましたが、そのおいしさに、さすがは宮崎産完熟マンゴーと感心していました。

れます。

一方で、有明町の松崎正司さんが栽培した甘夏を使った缶酎ハイが、全国販売されることになりました。

しかし翌朝、置いてあった箱を見ると、天草産完熟マンゴーのラベルが。地元という思い入れの分を差し引いても、宮崎産に引けをとらない、そのおいしさとできればに本当に驚かされました。

天草でマンゴーの栽培が始まったのは6年ほど前からで、現在は東京や大阪方面などの大都市へも出荷されているとのこと。天草の新たなブランドとして、大いに期待さ

こちらは、50年以上にわたる栽培に取り組む姿勢と技術に裏付けされた品質が飲料メーカーに評価されたもので、これもまた大変すばらしいことだと思えます。

マンゴーと甘夏、歴史の違いはあれ、どちらも天草の温暖な気候と風土が育てたもの。この恵まれた条件を生かして、もっと多くのブランドづくりへと夢が膨らみます。

天草市長 安田 公寛



わ かつさい 若っ喝采

原田悠佑さん (栖本町湯船原・27歳)

今、市青年団・栖本支部では、今年11月に行われる全国青年大会出場に向け、伝統芸能である栖本太鼓踊りの練習に励んでいます。まずは、6月27日にあさぎり町で開かれる「熊本県総合青年祭」に出場し、最優秀賞を取る予定です。つらい練習も、みんなと力を合わせ乗り越えていきます。

宝島の健康



すずこ 牧田鈴子さん (御所浦町牧島・84歳)

—— 毎日の楽しみは？  
大正琴の演奏や短歌を詠んだり、グラウンドゴルフを楽しんだりして、毎日忙



しく過ごしています。中でも、大正琴は時間を見つけては演奏し、発表会に向けて練習をがんばっています。

—— 健康の秘訣は？

毎日決まったリズムで生活することが大事。運動は、庭の周りを手入れしながら2～3周歩いています。食事も栄養のバランスを考えて作っています。

そして、健康な毎日を支えていただく周りの皆さんへ、感謝の気持ちを忘れないことです。



大好きな園庭の芝生の上で

子どもの自主性をはぐくむ保育

本渡ふたば保育園 (旭町)

本渡ふたば保育園 (洲崎豊裕園長・全園児76人) は、モンテッソーリ教育を基本として、子どもの自主性を尊重・重視した保育を目指しています。3・4・5歳児は縦割り保育を実施し、お互いに思いやりやいたわりの心が育っています。天草の島々が見渡せる自然豊かな環境の中であって、広々とした敷地の中に芝生の園庭があり、子どもたちは思いきり走ったりして遊んでいます。また、子育て支援センター「ふたばこども館」を併設し、地域の子育て支援を行い、郷土伝統の継承として、「天草太鼓」の修得にも取り組んでいます。保護者の一日保育士体験を通して、子育てを共有していきたいと願っています。

地域に見守られ心やさしくたくましく

宮野河内保育所 (河浦町)

宮野河内保育所 (大友寿恵美所長・全園児26人) は、海辺の小さな保育所です。温暖な気候と豊かな自然の中、天気の良い日は、近くの広場や海の見える公園などに出かけ、園外保育を楽しんでいます。また、地域の行事に参加したり、園の行事に招待して、

地区振興会や高齢者などとの交流を深め、地域の子どもとして温かく見守ってもらっています。このように、多くの人々とのふれあいを大切にする体験を通し、子どもたちが人を思いやるやさしさや生きる力、たくましさや生きるとして、親しみとくつろぎの場となるような、地域に根ざした保育所を目指しています。



ラディッシュの収穫。給食でおいしく食べました！



5月24日に行われた体育祭の成功を喜ぶ全校生徒

かきたてる情熱、高めよ志

倉岳中学校 (倉岳町) 3年 祝原 麻央

倉岳中学校は、天草一高い倉岳と美しい海に囲まれ、全校生徒83人で“やる気・元気・根気”を合言葉に、楽しく充実した学校生活を送っています。私たちが『倉中の宝』として守り続けているものがあります。1つ目は「朝ボラ」です。毎朝7時40分から15分間、全校生徒であいさつ運動や清掃活動をしています。2つ目は「語先後礼のあいさつ」です。立ち止まり言葉を先に言って礼をするというあいさつを、校内や地域で行っています。3つ目は「自転車並べ」です。ヘルメットを荷紐できちんと留めた自転車が、いつも整然と並べられています。私たちは、倉中で学べることを誇りに、これからもがんばっていきます。

学校のわたしのこと

あいうえおのわたしのこと

本度南小学校 (川原町) 6年 橋口 菜歩

私たちの学校には、12の委員会があります。まず運営委員会では、全校児童をまとめるために、児童集会での司会や気持ちの良い朝のスタートが切れるように、旗揚げの時にスピーチをしています。また、毎年12月に世界の貧しい人々への募金活動を行

ったり、去年からはクラスのきずなを深めるためにドッジボールなどのイベントを開催しています。このほか、学校をきれいにする美化委員会と環境委員会。南っ子の心と体の健康のためのハートフル・給食・図書委員会。みんなが安全に運動し大好きになるように、生活安全・体育委員会があります。私は、このような委員会と協力し活気あふれる南小を作っていきたいです。



旗揚げの時のスピーチのようす



# きら 煌めく人 たち

## 「竹炭を使った環境美化」

ゆきのり あつほ  
岩崎 幸憲 さん、温穂 さん (五和町城河原1丁目・69歳、64歳)

五和町城河原に住む岩崎さん夫妻は、農作業のかたわら5年前から竹などを使った炭作りに取り組んでいる。竹炭を作るきっかけは、幸憲さんが旧五和町の地球温暖化防止推進委員やゴミの監視員を務める中で「山の間伐で切った竹とか雑木で炭を作れば、環境にも優しく良いのでは」と思ったこと。炭作りは体力が必要で時間もかかる。「炭の焼き具合は、窯の煙突から出てくる煙の色で見極めますが非常に難しいんです」と話す。はじめのころは、炭ではなく、灰になっ

てしまうのがほとんどだったが、失敗を繰り返していくうちに徐々に形のあるものになっていった。「窯から炭を取り出すとき、その出来上がりを見るのが楽しみです。ひやひやします」と温穂さん。幸憲さんも「自分が納得のいく炭ができません」と、さらに努力を積み重ねている。昨年12月には、この炭焼きを、城河原小学校の生徒たちの体験学習として実施。生徒たちは、今年3月にできた炭を網の中に入れ、近くにある内野川に沈め、川の水質の変化を研究、それを5月30日に開催された「ホテルフェスタ」で発表した。夫妻は生徒から届けられたお礼の手紙を手に「子どもたちが、真っ黒になりながら取り組んでいるのを見て、とてもうれしくて元気をもらいました」と微笑む。これからの抱負を尋ねると「今後は宿泊しながらいろいろな体験を楽しんでもらいたい」とのこと。人とのコミュニケーションが大好きな夫妻は、そのため、現在自宅を改装中である。

# ハッピーバースデー 今月で1歳になります



おとが  
木村 乙夏 ちゃん

本渡町広瀬  
父・健史さん  
母・友枝さん

呼春姉ちゃんと毎日元気に遊んでます！



さき  
岡田 紗希 ちゃん

五和町御領  
父・隆通さん  
母・美紀さん

家族の人気者です。すくすく成長しています。



ゆい  
佐藤 優衣 ちゃん

八幡町  
父・正樹さん  
母・知寿子さん

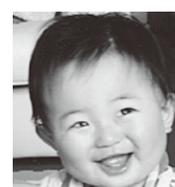
いっぱい食べて、元気にやさしく育ててね！



ここあ  
横手 心愛 ちゃん

久玉町  
父・大嗣さん  
母・真帆さん

心ちゃんスマイルをふりまいてます。スカイお兄ちゃん大スキ♡



ゆうと  
岡田 裕聖 くん

有明町下津浦  
父・寿幸さん  
母・卓世さん

腹減ったー。眠ったー。以外は愛きょう抜群の跡取り息子です!!



富山 ちなつ ちゃん

倉岳町宮田  
父・進市さん  
母・庸江さん

ごはんと歌が大好き!!雄大にいい、これからも仲良くしてね♡



みく  
長木 美空 ちゃん

今釜新町  
父・誠さん  
母・純子さん

かわいい笑顔にみんなメロメロです☆



のあ  
本多 乃彩 ちゃん

亀場町亀川  
父・弘典さん  
母・綾さん

パパとママの宝物♡明るく元気に育ててね!!



ふみか  
岡部 文香 ちゃん

本渡町本戸馬場  
父・祐一さん  
母・明美さん

じいじとパンが大好きです♡たくさん食べて大きくなってね!

### 8月で満1歳になるお子さんを募集します!

- 応募期限=7月10日(金)まで(必着)。
- 応募方法=写真裏にお子さんの住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、電話番号、コメント(30字以内)、保護者名(父・母)を記入し、〒

863-8631(住所記載不要)天草市役所秘書課へ郵送または持参してください。なお、写真はお子さんが大きく、鮮明に写っているものをお願いします。また、写真の掲載は9人まで(応募者多数の場合は抽選)とし、応募写真は返却しません。

## 現代に息づく 歴史の証

### 「一町田八幡宮虫追い祭り」 (河浦町)

鮮やかな五色の旗が風にはためくようすが印象的な、河浦町の「一町田八幡宮虫追い祭り」が7月19日に行われます。これは、虫追いと豊作を祈願した祭りで、その始まりは寛永年間(1624～1644)にさかのぼると伝えられています。そのころの河浦地域では、稲や草木を食い尽くすほどの害虫が発生し、これを心配した老婆が、八幡宮に赤い絹布を奉納して数日間一心に祈り、その布で害虫を追い払ったところ、一匹もいなくなっ

たといわれています。このときの絹布が、現在の虫追い旗の元になっているようです。この虫追い旗、さおは竹製で1本20mほど。重さは約40kgもあります。これを通常1人で掲げ、鉦や太鼓を打ち鳴らしながら練り歩きます。虫追い祭りは各地にあります。このように旗をたなびかせて行進するのはほかに例がなく、市無形民俗文化財に指定されています。皆さんも伝統あるこの「虫追い祭り」をぜひご覧ください。



▲風にたなびく「虫追い旗」

## 地域が動く 天草が動く

東西に無量寺と正光寺を有し、門前町としての面影を持つ久玉町は、天草最古の海城「久玉城」が築城されたところで、文化財が多く点在する文化の薫り高い地域です。地元の上揚地区活性化グループでは、初めての試みとして昨年8月15日、ご先祖のお帰りの道しるべにと無量寺山門に至る参道に竹灯ろうをともし、墓参者の心を和ませました。また、文化財と川を生かしたまちづくりで地域を元気づけようと、毎年、参道に架かる眼鏡橋の下を流れる久玉川の清掃や通学路の除草を続け、今では再び蛍が飛び交う姿が見られるようになり、初夏の風物詩として静かなブームを呼んでいます。そこで、早速「蛍を育てる会」を結成。

「蛍を生かしたまちづくり」  
〜郷土を愛しむ心が一つになって〜  
久玉地区振興会(尾谷次男会長)

蛍の乱舞を夢見て、眼鏡橋周辺の川に石灰石を並べて蛍の隠れ家を作ったり、産卵箱を用意して幼虫の飼育にも挑戦中です。

今後は、地域の資源である「蛍」を生かしながら、環境と地域にやさしいまちづくりを進め、子どもからお年寄りまで心のかよう久玉地区振興会を目ざしたいと考えています。

▲「蛍の隠れ家」づくりを行う地区住民



▲「蛍の隠れ家」づくりを行う地区住民

【編集発行】

熊本県天草市役所  
総務部秘書課広報広聴係  
〒863-8631 天草市東浜町8番1号  
TEL 0969-23-1111  
FAX 0969-22-7016  
URL <http://www.city.amakusa.kumamoto.jp/>  
E-mail hisyoka@city.amakusa.lg.jp



人体の約60%は水分でできているとのこと。小学生のころ、給食では脱脂粉乳（年を感じるな）と牛乳を飲んでいました。一番の楽しみは、家庭訪問のとき先生が残したサイダーをいっき飲みで「クー」。今は、ある飲料のソムリエを目指して猛特訓中です。【凡】

車を運転していると、携帯電話を掛けながら運転している人や信号停止のときにメールをしている人をよく見かけます。いくら自分自身が気をつけて運転していても、こういった不注意で事故に巻き込まれるかもしれないと思うと、本当に許しがたいものです。【走】

先日、虫歯を抜きました。くしくも「歯の衛生週間」直後のこと。抜いた歯は大事に持ち帰り、乳歯が抜けた時のようにおもいきり投げました。よし、これでまた丈夫な歯がニョキニョキと生えてくる…てなわけがないですね。

皆さん、歯は大切に！ 【素】

我が家の玄関先に、ひっそりと影を潜めているものがあります。それは、「マイ自転車」。自転車通勤をしようと購入したものの、ほんの数回。「暑いから」「寒いから」と何かと理由をつけてはマイカー通勤を続ける日々。今年こそはかんばるぞ!?!といいながらも…。【葉】

～豚が入っていないのに「ぶた和え」～



天草では、昔からなすやにがうりがたくさんとれました。この「ぶた和え」は、沖縄のゴーヤチャンプルでは豚肉を使いますが、豚肉は貴重な食べ物だったので、代わりに「たこ」を入れて食べたものが「ぶた和え」として伝わったと言われています。にがうりやかぼちゃ、ピーマンを加えるなど地域によっていろんな楽しみ方があります。

材 料 (約4人分)

- なす…………… 240g
- たこ…………… 160g
- しょうが……………20g
- 味噌…………… 20g
- 砂糖…………… 4g
- サラダ油……大さじ1杯

作 り 方

- ①たこは塩でもみ、塩と酢を少々入れた湯でゆで、一口大に切る。
- ②なすは食べやすい大きさの乱切りにし、水につけてアク抜きをする。しょうがは皮をむいてせん切りにする。
- ③フライパンにサラダ油を熱し、しょうがを炒める。水けを切ったなすを加えてさらに炒める。
- ④③にたこを入れてさっと炒め、調味料を加えて火をとめる。

提供：市食生活改善推進員協議会

市のシンボル



【市の花】  
はまぼう



【市の木】  
あこうの木



【市の鳥】  
かもめ



【市の魚】  
鯛

市民憲章

わたしたちは、将来にわたって夢と希望に満ちあふれた天草市となることを願い、ここに天草市市民憲章を定めます。

- 一 感謝の心をもち、豊かな「しぜん」を守ります
- 一 ふるさとを愛し、誇れる「ひと」を育てます
- 一 恵まれた風土を活かし、「ものづくり」に励みます
- 一 伝統と文化を学び、安らぎのある「まち」を創ります
- 一 世代の調和を大切に、健やかな「和」を広げます